

コア・タイムス

[The Center for Overall Research on Education]

発行所 加西市立総合教育センター

加西市北条町古坂1173-14 TEL 0790-42-3723 URL <http://kasai-core.net>

○今月の紙面

- ①青少年健全育成カレンダーができました
- ②ご存じですか ③北播磨青少年本部長表彰
- ④ジュニアリーダー教室 1泊2日スキー教室
- ⑤子ども会育成連絡協議会 雪体験ツアー
- ⑥コラム 仏様の指

平成25年度 **青少年健全育成カレンダー**

加西市立総合教育センター
加西市青少年補導委員連絡協議会

TEL 0790-42-3730
FAX 42-4221

青少年健全育成

カレンダーができました

加西市立総合教育センターと青少年補導委員連絡協議会は、毎年健全育成カレンダーを制作し、小中学生をはじめとして、広く市民のみなさんに啓発を行っています。今年度も、新しいカレンダーができました。

インターネット等を利用した犯罪やトラブルに青少年が巻き込まれる事案が増加しています。昨年度よりトラブル防止のポスターと標語を募集し、優秀作品を表彰するとともにカレンダーにして、小中学生等に配布しています。今年度も、優秀作品の中からポスター6点、標語9点を掲載し、加西市の児童生徒に活用してもらえよう、平成25年度青少年健全育成カレンダーを作成しました。

このカレンダーは、学校だけでなく関係機関や店舗等に配布し、掲示をお願いして

「ご存じですか？」

※センターでは、ご希望される方にカレンダーをお分けすることができます。センターまでご連絡ください。

啓発をしています。学校行事も書かれていますので、ご家庭でも掲示していただき、ご活用ください。

最近になって、SNS(フェイスブックやLINEなど)やオンラインゲームの利用に伴う青少年のトラブルが増加しています。中でも、パソコンや携帯電話(ケータイ)、スマートフォン(スマホ)を使うときにSNSやオンラインゲームやインターネットに接続するときに巻き込まれるケースが

増加しています。中でも、パソコンや携帯電話(ケータイ)、スマートフォン(スマホ)を使うときにSNSやオンラインゲームやインターネットに接続するときに巻き込まれるケースが増加しています。中でも、パソコンや携帯電話(ケータイ)、スマートフォン(スマホ)を使うときにSNSやオンラインゲームやインターネットに接続するときに巻き込まれるケースが増加しています。

これらは、家庭用無線LANや店舗のWi-Fiに接続することによって、インターネット接続ができます。そして、アプリを使ったり、SNSやオンラインゲームをすることができます。

- ・携帯型ゲーム機
- ・据え置き型ゲーム機
- ・携帯型デジタル音楽プレーヤー
- ・機種変更、解約して使えなくなったスマホなど

生じています。パソコンやケータイ、スマホ、タブレット端末以外でインターネットに接続できる機種を、ご存じでしょうか。簡単に例を挙げます。

表彰関係



受賞された3名

平成24年度北播磨青少年本部長表彰に、加西市からは次の3名の方が選ばれ、2月24日(日)に小野市の商工会館で表彰式が行われました。おめでとうございます。

- 加西市剣道連盟 大藤嘉次仁氏
 富合サッカースポーツ少年団 初田源三氏
 ジュニアリーダークラブ 高見裕子氏

【教育相談窓口】(予約制)
 TEL 42-3730

- 特別教育相談(臨床心理士) 木曜日 9:00~17:00
- 発達支援相談(臨床発達心理士) 水・金曜日 9:00~12:00
- 夜間教育相談 火・水曜日 18:30~20:30
- 一般教育相談 予約不要 月~金曜日 9:00~17:00

接続環境や履歴をご確認いただき、トラブル防止にお努めください。

ウィンタースポーツを楽しみました!

ウィンタースポーツといえば、雪山でのスキーを連想されることでしょうか。今回は、ジュニアリーダー教室と子ども会育成連絡協議会の行事をご紹介します。

1泊2日

スキー教室

ジュニアリーダー教室

第9回ジュニアリーダー教室は、1月26日(土)、27日(日)の二日間、県立兎野高原野外教育センターに1泊し、おじろスキー場でスキー教室を行いました。



吹雪の中で…

一日目は、出発時は晴れていましたが、スキー場では吹雪の中の練習となりました。ゴンドラに乗って山の上下へ。雪はたつぷりありましたが、冬型の気圧配置で、ひっきりなしに雪が降り、教室生は転びもしないのに雪だるまに。真っ白になりながら練習

を行いました。



お腹すいた!

実習の後、兎野高原野外教育センターに戻り、夕飯と入浴とレクレーション。窓の外は一晚中吹雪いていましたが、温かく過ごすことができました。二日目の朝、起きると夜の間に20cm以上の雪が積もっていました。朝日で雪原がきらきら輝く中をバスでスキー場に向かいました。時折雪がちらつきましたが、初日ほど降ることはなく、絶好のスキー日和で楽しむことができました。初めてスキーに参加した教室生も、リフトを経験することができ、「もう一回滑ろ」と言って、指導者の後を滑っていました。



上手になったよ



ハチ北の北壁を望む

二日間の実習を終える頃には、来たときよりもずいぶん上達しました。帰りのバスでは、颯爽と滑る夢を見ていたことと思います。

雪体験ツアー

子ども会育成連絡協議会

加西市子ども会育成連絡協議会は、2月10日(日)に、雪体験ツアーでハチ北高原スキー場へ行きました。

早朝から市役所前に140人が集まり、貸切バス3台に分乗し、ハチ北高原へ向かいました。当日は三連休の中日とあって、所々で渋滞がありました。

金曜日に雪がたくさん降りましたが、きれいに除雪され、駐車場までの道に雪はありませんでした。

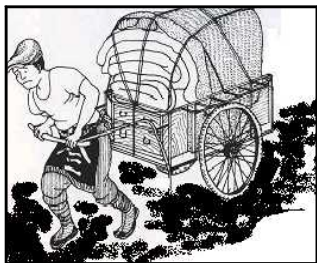
この日の人出は、地元の方の話によると、普段の休日のおよそ2.5倍。リフトには長蛇の列ができました。

当日は天気がよく、また気温も暖かめでした。参加された方は家族毎に分かれ、2時過ぎまでたつぷり雪遊びやスキーを楽しめました。

心配していた帰りの渋滞はほとんど無く、順調に市役所まで帰り、それぞれ笑顔とともに帰路につかれました。

仏様の指

仏様が道ばたに立っていらつしやると、ひとりの男が荷物をいっぱいに積んだ車を引いて通りかかった。そこはぬかるみであった。男はそのぬかるみにはまってしまった。男は一生懸命に引くけれども車は動こうともしない。男は汗びっしょりになって苦しんでいる。いつまでもたつても、どうしても車は抜けぬ。その時、仏様はしばらく男の様子を見ていらつしやつたが、ちよつ



と指でその車にお触れになった。すると、その瞬間、車はすつとぬかるみから抜けて、からからと男は車を引いて行つてしまった。

これは、大村はまささんが執筆された「教えるということ」の一節です。彼女は、「もし仏様の加護によって車がぬかるみから抜けたと知ったら、この男は仏様にひざまずいて感謝するだろうけれど、それではこの男の一人で生き抜く力は何分の一かに減ってしまっただろう。仏様の力で抜けたのだというありがたさはあっても、生涯一人で生きていく自信ある真の強さには、はるかに及ばなかっただろう。」とコメントされています。

この「仏様の指」は、私たち大人が、どのように子どもたちと関わり、支援すべきかを示唆してくれているように思います。私たち大人が、いかに子どもたちの可能性を信じ、個にあった支援をタイミング良く行うか。それによって、「生きる力」につながるのだと。